

学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



卒業式に向けて出番を待つガラスハウス内の花たち

♪♪♪ 伝統を伝える鼓笛隊引継ぎ式 ♪♪♪

もう少しで弥生3月。窓辺に降り注ぐ光は暖かさを増し、学校の木々の芽も少しずつ膨らみ始め、そこかしこに春の訪れを感じる季節となってきました。

さて、8日(水)鼓笛隊引継ぎ式を行いました。昨年から、吉田東小の伝統的な鼓笛隊の行事なので保護者の方々にも見ていただこうと、授業参観の前に実施しています。学校評議員さんにも参観していただきました。

初めに4・5・6年生が入場しながら演奏を行った後、指揮者の6年生の落合妃菜乃さんより指揮杖の返還とお礼の言葉がありました。その後、新しい指揮者になった5年生の海老原智陽さんへ指揮杖を渡し、6年生が正面で見守る中、新しく結成された3・4・5年生による演奏を行いました。総合の時間や昼休みなどに、6年生から新しいパートの手ほどきを受けた下級生たちは一生懸命練習に励み、この日を迎えました。演奏が無事終わると、指導した6年生はもちろん、下級生も安堵の表情を浮かべていました。新鼓笛隊にとっては、初デビュー！旧鼓笛隊の安心して聴ける演奏と新鼓笛隊の力強い演奏に、熱くこみ上げる感動を覚えました。54年間にわたる鼓笛隊の伝統は現在も引き継がれ、吉東小の誇りとなっています。

今後は秋の運動会に向けて、更なるレベルアップを図っていく予定です。晴れの舞台を御期待ください。

6年生 最後の演奏



新鼓笛隊の力強い演奏



吉東小4・5年チーム 3位 おめでとう

2/12(日)「カンピくんカップ市内小学校交流キンボールスポーツ大会」が石橋体育センターにて行われました。今年から始まったこの大会は、下野市が推進している「キンボール」の楽しさを体験することで、市内小学生の交流を深めたり仲間意識を高めたりすることを目的としています。全部で26チーム、134名の児童が参加しました。



本校からは「吉田東小1(6年生)」「吉田東小2(4・5年生)」の2つのチーム14名が、出場しました。各チームとも3回の試合を行い、勝ち点合計によって決勝戦に進めます。「吉田東小2(4・5年生)」チームが決勝戦に進み、見事に3位となりました。「吉田東小1(6年生)」チームも4位という素晴らしい成果を収めました。互いに協力して、最後まで全力で戦った子供たちの姿は、すがすがしく、堂々としてすばらしかったです。本校では、2年前からPTAスポーツ大会でキンボールを取り入れ、今年度からは「キンボールクラブ」をつくり、子供たちはこのスポーツに親しんできました。保護者の皆様には、早朝より会場への送迎や応援など、大変お世話になりました。

1/17(火)の学級活動の時間に、看護職のお母さんの団体である『えがおのたまご』による授業を4年生が行いました。3名の保護者の方の御参加、ありがとうございました。2年生は「命の大切さ」について、7月に『えがおのたまご』による学習を行いました。



4年生は「心と体の変化」について、体のどこがどう変わっていくかを絵やモデルを使って説明を受けました。2次性徴には個人差があるので、友達と比較して心配する必要はないそうです。最後には保護者の方や先生などと「ほめほめシャワー」を行いました。相手の良いところを見つけて、伝えます。本時の目標「2次性徴を肯定的にとらえ、自分と周りの人々に優しくできる。自分を今より好きになる。」は達成されたことと思います。4年生の御家庭でも、「心と体の変化」について話し合う良い機会だと思えます。

1/16(月)民生委員との懇談会が行われました。本地区の民生委員さんは、後藤誠一さん(上吉田・鯉沼)大垣孝子さん(川島・三王山・本吉田北1班)宇田三雄さん(磯部・塚越・本吉田北・別当河原)小室佳子さん(本吉田北・南)の4人です。4人の皆様には登下校の見守りもやっていたり、お陰様で安全に登下校ができています。

子供たちの様子の話し合いでは、「挨拶が良くできる登校班とできない班がある。」「友達の家遊びに行ったとき、挨拶や靴そろえがきちんとできる。」「ヘルメット着用が守られている。」などの意見が出ました。やはり「挨拶はコミュニケーションの第一歩」。まず、大人の我々が手本を見せて、繰り返して挨拶や礼儀の大切さを教えていくことが大切です。「大人は子供から見られている。」「子供は親(教師)の鏡」とも言われます。大人が模範を示し、当たり前前を当たり前前にできるようにしていきましょう。これからも、よろしくお願いします。



1月から学校支援ボランティアさんによる新たな活動が広がっています。今までの除草ボラの他に、卒業式のテーブルクロスや雑巾を縫うミシンボラ、たし算・引き算・かけ算ボラ、英語ボラ、遊びボラ、掃除ボラ、剪定ボラなどです。御協力に感謝の気持ちでいっぱいです。除草ボラを募集しています。どなたか得意な方は?



☆☆ 特別支援教育って? No.4 めがねのはなし ☆☆

私はめがねやコンタクトのお陰で、何とか支障なく生活しています。目の悪い人が、「めがねをかけているのは、かけていない人に不公平です。かけてはいけません。がんばれば見えるはず。見えないのは努力が足りないからです。」

と言われたら、どうでしょう?怒ってしまいますよね。でも実際には、視力を補う道具としてめがねを認めているので、このようなことは言いません。めがね以外にも電卓、辞書、パソコン、カーナビ、エレベーター等、私たちの生活には不便さを補う道具がたくさんあり、快適に暮らしています。最近では、車椅子、盲導犬、手話、補聴器、点字ブロック、スロープ等も、当たり前の手助けとして受け入れられています。

では、子供たちの忘れ物や計算ミス、漢字が書けない、すぐにけんかをしてしまう……等に対して、「不注意だ」「落ち着いてやれば」「がんばれ」「自分勝手にわがまま」と、つい叱ってしまうことがありますか?しかし、このような困った行動は、努力不足やわがままばかりではなく、上手なやり方を学ばなかったからであると言われるようになってきました。その子なりのやりにくさ、わかりにくさに合わせた配慮や工夫をすることが、特別支援教育なのです。つまり、一人一人に合った「めがね」を一緒に探して、子供たちが使えるようになり、達成感や充実感を味わえるようにしていくことが、私たち大人の役目だと思います。

お知らせ:

「吉田東小 学校だより」はホームページでカラー版を御覧いただけます。学校行事や各学年の活動も随時配信しております。御意見、御感想などありましたら御連絡ください。QRコードからもアクセスできます。



学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



沿道沿いの
葉ボタン

☆☆ 良い習慣とは ☆☆

毎朝、昇降口で79名の子供たちと挨拶、手の消毒をしています。秋までは挨拶とハイタッチだったのですが、冬の感染症が増えた頃から、全員に朝の消毒をしてもらっています。挨拶はその子によってみんな違って、性格が出ます。元気に明るくにこにこ笑顔の低学年生、きちんと礼をして目を合わせて挨拶できるのは、さすが高学年生。なかなかはっきりと挨拶できないけれど、心の声は聞こえる子には「今日も元気ね。」「挨拶が聞こえたよ。」などと、励ましの言葉かけをします。挨拶だけでなく、靴をきちんと揃えて入れられる子もいます。高学年ほど靴のかかとが揃っています。6年間で良い習慣が身に付いたのですね。「クラス全員の靴を揃えました。」と報告してくれた2年生Sさん、素晴らしいです。10月の全校集会で話したことを覚えて、実行しているのです。「靴を揃えることは、心も揃えること」と藤本幸邦氏は言っています。良い習慣が身に付くには、時間がかかるのだと思います。こんな言葉があります。自分を見つめ反省し、子供たちの行動に学ぶ毎日です。



心が変われば 行動が変わる

行動が変われば 習慣が変わる

習慣が変われば 人格が変わる

人格が変われば 運命が変わる



給食週間 1/23~27

1/23(月)給食週間に合わせて「はしの持ち方」学習を行いました。渡邊栄養教諭さんのわかりやすい説明を聞きながら、実際に割りばしとペットボトルキャップで練習しました。正しくはしを動かすのは、なかなか難しい子もいました。1日3回、はしを使う日本の文化。正しいはしの持ち方は小学生の今なら、まだ直せそうです。ぜひ、家でも練習をお勧めします。また、給食の献立は「熊本県・栃木県・三重県・大分県・神奈川県」のご当地メニューでした。あまり食べたことのないメニューに毎日わくわく。日本の食文化の豊かさを感じ、幸せを感じるひとときでした。



27日は調理員さんに御礼のお手紙を渡し、感謝の気持ちを伝えました。そのお手紙を紹介します。

- いつも給食を食べる前に献立表を見えています。野菜は嫌いだったけど、学校で食べたら家でも食べられました。いつも給食を楽しみにしています。(1年I・R)
- いつもおいしい給食をありがとうございます。苦手だった納豆が大好きになりました。1年生の時から残さず食べています。一番大好きな献立は、海藻サラダです。毎日バランスを考えてくれて、ありがとうございます。(2年M・W)
- いつもおいしい給食を作ってください、ありがとうございます。嫌いなものでも調理員さんがおいしく調理してくださるので、食べられます。これからも給食を作ってください。(3年I・H)
- いつもおいしい給食を作ってください、ありがとうございます。学校では、家では出ない料理が出るのすごいです。ししゃもや海藻サラダです。これからもおいしい給食を作ってください。(4年T・A)
- いつもおいしい給食を作ってください、ありがとうございます。とてもおいしいです。私は保健給食委員です。ランチルームの水道掃除をするとき、冬はとても冷たいです。調理員さんは毎日冷たい水で食器を洗っているので、すごいと思います。これからもおいしい給食を作ってください。(5年E・Y)
- いつもおいしい給食を作ってください、ありがとうございます。私の好きな給食は、ししゃもフライで苦手なものは「しもつかれ」です。でも、調理員さんがみんなにも食べやすくおいしくしてくれるので、学校の「しもつかれ」が好きになりました。これからもおいしい給食をお願いします。(6年O・H)



南河内中学区小中一貫教育説明会



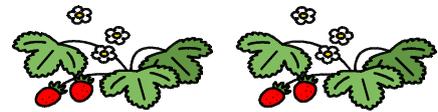
12/9（金）、南河内中学区小中一貫教育説明会が本校第1ホールで行われました。事前に市教育委員会から案内があり、学区内4校でそれぞれに実施されました。内容について簡単にお伝えします。

市教育委員会としては、平成33年度を目標に、吉田東小・吉田西小・薬師寺小・南河内中を統合し、小中学校9年間の義務教育学校を設立する構想です。義務教育学校とは……？平成28年から、9年間の義務教育を一貫して行う新たな学校の種類「義務教育」設置が可能になりました。そのメリットとして、

- 1人の校長のもとで1つの教職員組織となり、9年間の一貫した教育を行うことができる。
- 中学校進学時の不安が減り、中一ギャップ（戸惑いや不登校など）が解消できる。
- 9年間の一貫した学習計画を作ることで、9年間を見通した教育ができる。
- 9学年分の多くの教職員が児童生徒に関わり、小学校教員のきめ細かさや中学校教員の専門性を生かした指導ができる。
- 現行の6・3制にとらわれず、4・3・2制などの設定ができる。

などがあります。小山市の絹中学区では、平成29年度4月から「絹義務教育学校」がスタートします。4校の学校の在り方も大きく変わろうとしています。説明会は今後も続けられるとのこと。先進校の事例を学び、児童生徒の将来のために、次回説明会に参加され御意見をいただきたいと思っております。

学習アンケート結果より



12月、全校で2回目の「学習アンケート」を実施しました。12月までの自分の学習について振り返り、今後のめあてを明確にするためです。7月の結果と比較した全校生の結果をお知らせします。

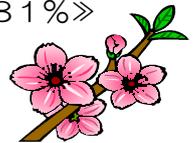
（％）は「良くできている・できることが多い」と答えた割合です。

「学校での勉強」 (7月) <<12月>>

- 1 授業中は進んで自分の意見を発表している。(73%) <<81%>>
- 2 先生や友達の話をしっかり聞いて、理解している。(87%) <<84%>>
- 3 黒板の字を写すだけでなく、先生や友達の良い意見をメモしたり、後で見分けるノートになるよう工夫したりしている。(1、2年：黒板の字をノートに丁寧に正しく書いている。)(60%) <<77%>>
- 4 グループ活動では、進んで話し合いに参加している。(85%) <<88%>>
- 5 苦手な教科ややりたくない学習でも、進んで集中して取り組んでいる。(83%) <<83%>>

「家での勉強」

- 6 毎日家庭学習を行い、宿題は忘れず提出日に提出している。(92%) <<89%>>
- 7 家の人に言われなくても、毎日自分から進んで家庭学習をしている。(80%) <<77%>>
- 8 ページや問題数、時間など、目標を決めて学習している。
(1、2年：勉強する時間(学年×10分)を守って勉強している。)(70%) <<74%>>
- 9 国語と算数は毎日勉強し、復習と宿題はその日のうちにやっている。(88%) <<81%>>
- 10 分からないところは、辞典を引いたりインターネットで調べたりしている。
(1、2年：分からない問題は家の人や先生に聞いている。)(80%) <<77%>>



「学校での勉強」では伸びが見られ、うれしく思います。特に、3の「ノートの工夫」は17%の伸びが見られ、児童の意識が高まり実践された結果です。一方、「家での勉強」では全体的に下がっている傾向が見られます。原因は何でしょうか？後期の中だるみ？児童は「アンケート」結果を振り返り、用紙にめあてを書いて持ち帰りました。そして、御家族の皆さんからの励ましも記入していただきました。御協力ありがとうございました。

栃木県や下野市では「学力向上」に力を入れています。以前、「学力アッププロジェクト」には「学力を伸ばす7つの習慣」、「食育だより」には「脳力アップ朝ごはん」がカラーのパンフレットで配付されました。御家庭でも一緒に教科書を読んだり、ノートを見てあげたりして、一緒に学び、がんばりを認め励ましてあげてください。「スポットライト効果」という学習意欲や集中力の維持・向上対策があるそうです。人目につく場所だと、だらだらしたり関係ないことをしたりする後ろめたい行動が抑制され、やるべきことに集中するようになるものです。例えば、勉強場所を家の方の目につくところに移したり、学習したノートを家の方が確認してサインなどして見守っていることを伝える……。2/22～24は「家庭学習強化週間」です。学力向上には、学校と家庭の協力が不可欠です。よろしくお願いいたします。

